

座 談 会

社外取締役とは何か
—企業価値創造プロセスへの関与—

と き 2021年11月18日 (木)
と ころ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》(敬称略、五十音順、肩書は座談会開催時)

引 頭 麻 実 CMA

(東京ガス 社外取締役 (監査委員会委員長) ほか)

藤 田 純 孝

(オリンパス 社外取締役 (取締役会議長) ほか)

堀 井 浩 之 CMA

(三井住友トラスト・アセットマネジメント 常務執行役員 (現・専務執行役員))

山 本 高 稔 CMA

(日立製作所 社外取締役 ほか)

《司会者》

北 川 哲 雄

(青山学院大学名誉教授 東京都立大学特任教授)

目

1. はじめに
2. 取締役会の仕組みや運営面での課題
3. 社外取締役の役割とスキル
4. 機関投資家の議決権行使の考え方

次

5. 社外取締役への期待とファイアウォールの問題
6. アナリストのキャリアパス多様化の一例としての社外取締役

1. はじめに

北川 わが国のコーポレートガバナンスの仕組みは、2014年の日本版ステewardシップ・コード、2015年のコーポレートガバナンス・コードの策定と、それらの改訂・再改訂を経て、大きな変容

を遂げてきた。特に、2021年6月のコーポレートガバナンス・コード再改訂で、2021年12月末までに東京証券取引所(以下、東証)への報告が求められることとなったコーポレートガバナンス報告書が注目されている。一方、責任投資報告書は、2021年度版において多くの機関投資家が公